



稼げる! プロコン育成塾

稼げる! プロコン育成塾 20期 第2回講義、次のとおり報告します。

■実施要項

開催日時： 2020年8月22日(土) 10時～17時半

開催内容： 【話す】 ミニプレゼンテーション

【書く】 小論文の書き方

講師：小野田直人(14期)

【特別講義①】 執筆のための取材ノウハウ

講師：(株)クオリティ・オブ・ライフ代表取締役 原正紀氏

■講義レポート

8月24日土曜日、稼げる! プロコン育成塾は第2回目の講義を都内区民館で開催しました。当日は20期生11名、19期生1名、事務局から5名が参加。会場での密を避けるために、最少人数の事務局体制としました。

1. 【話す】ミニプレゼンテーション

今回から【話す】のカリキュラムの一つ、「3分間プレゼンテーション」が始まりました。初回は3名が登壇。プレゼンテーションを聞き、塾生や事務局全員が、評価表を通じて、プレゼンターにフィードバックを行います。プレゼンターは、評価表を読み返すことで自分の強み・弱みを客観的に知ることができます。一人ひとりのプレゼンターが、テーマや論理構成を考えて練習をしてきたことが、プレゼンテーションから伝わってきました。3分間という時間を使いきる、興味深いテーマのプレゼンテーションでした。鴨志田塾長のフィードバックは、内容に関するもののほかに、立ち姿勢、発声の仕方(口の開け方)、および声質が聞き手に与える印象にまで踏み込みます。



写真：稼プロ! 20期生3人のプレゼンテーションの様子

2. 【書く】小論文の書き方

講師：小野田 直人

【書く】の講義の講師は、14期生の小野田直人さんが務めました。本講義のゴールは、文章作成の基本ルールを理解することです。このルールを身に付けることにより、セミナー資料や診断報告書、補助金申請書など、仕事のレベルアップが期待できます。20期生は、次回講義までに小論文のレジюмеを作成し、その後、ブラッシュアップを行ってから小論文を書き始めます。初稿完成後、塾生同士で相互添削を行い、小論文執筆上の注意点の学びを深めていきます。

小論文の書き方の講義では、「ビジネス小論文作成の基本」、「小論文執筆の注意点」などを学びました。

「ビジネス小論文作成の基本」では、ビジネス小論文とはなにか、どのような制約条件があるのかといったことから始まり、さらに、テーマを明確にすることや、論理構成の考え方を理解していきます。そして、論理の展開法を用いて短文を書くことにチャレンジしました。小論文作成の基本の最後は、推敲の仕方です。具体的には、文章チェックの仕方、文章修正の仕方を学びました。たとえば、「主語と述語がねじれている文がときどき見受けられるが、書いた本人は気がつかないことがあるので、時間をおいてからチェックすることで客観的に推敲ができるようになる」と講師からアドバイスがありました。

「小論文執筆上の注意点」では、タイトルと本文の整合性、全体の論理構成、論点の訴求力、漢字と仮名の使い分けなど、幅広い視点で詳しく学びます。これらは執筆に不可欠な知識です。ビジネス小論文の題材は、読んでためになること。すなわち、「訴求力」「わかりやすさ」、「正確性」が求められます。一度で身に付かないので、書いた文章を何度も推敲することで書くスキルを高めていくことができます。



写真：小野田講師

3. 【特別講義①】執筆のための取材ノウハウ

講師：(株)クオリティ・オブ・ライフ代表取締役 原 正紀 氏

原正紀特別講師にご登壇いただきました。『月刊企業診断』巻頭企画で原講師は、連載18年(200回)を超えるインタビューの実績をお持ちです。さまざまな著名人とのインタビューでは、その人らしさを大切にして、会社の強みや、人の強みを引き出すことを心がけていらっしゃいます。

講義では、インタビューのコツを学びました。インタビューの仕方は、さまざまなバリエーションがありますが、目的に応じて決まります。インタビューで大事なことは、事前に情報収集を行い、インタビューの骨子を考えることです。インタビュアーは、会話の流れをコントロールするために、聴くための技法も身につける必要があることも学びました。

最後に塾生がペアになり、相手をインタビューするロールプレイングを行いました。10分間という時間で、どれだけ相手のことを引き出せるかを意識します。塾生達は10分間で話が盛り上がり、相手の話を前向きに聞くことが、よいインタビューなることを体験することができました。



写真：原特別講師



写真：10分間インタビュー塾生の様子

■ 次回の案内

第3回講義は、9月26日(土)に開催します。まず、小野田直人さんが第2回に続き、「小論文の書き方(骨格・論理構成)」の講師として登壇。続いて、「出版ノウハウと出版企画の立案法」は、OB生の亀田憲さん。最後は、特別講義として株式会社同友館『企業診断』編集長 馬淵 裕介氏による「出版物執筆の基本」を予定しています。

(事務局：高橋由子(19期))

以上